放課後子ども教室



ホッケー部のお兄さんとリフティング練習

(松前小学校放課後子ども教室【松前町】)

| ①【四国中央市】 | 小富士小学校放課後子ども教室 | 32 |
|-----------|-----------------|----|
| ②【新居浜市】 | でこぼこクラブ | 33 |
| ③【西条市】 | 大町子ども教室 | 34 |
| ④【今 治 市】 | 宮窪小学校放課後子ども教室 | 35 |
| ⑤【東 温 市】 | 北吉井小学校放課後わくわく教室 | 36 |
| ⑥【伊 予 市】 | 伊予小校区放課後子ども教室 | 37 |
| ⑦【松 前 町】 | 松前小学校放課後子ども教室 | 38 |
| ⑧【砥 部 町】 | 麻生っ子放課後子ども教室 | 39 |
| ⑨【久万高原町】 | 子どもの居場所づくり教室 | 40 |
| ⑩ 【大 洲 市】 | 上須戒放課後子ども教室 | 41 |
| ⑪【内子町】 | 立川小放課後子ども教室 | 42 |
| ⑫【西 予 市】 | 中川小学校放課後子ども教室 | 43 |
| ⑬【宇和島市】 | 美沼子ども教室 | 44 |
| ⑭【鬼 北 町】 | 日吉地区放課後子ども教室 | 45 |
| ⑤【愛南町】 | 夏休み子ども教室 | 46 |

小富士小学校放課後子ども教室【四国中央市】

~豊かなふれあいや体験を通して子どもを育む~

◆活動の目的・理念

- 子どもたちが地域住民との交流やさまざまな体験学習を通して子どもたちの自主性・創造性・社会性を育てる。
- 子どもたちの安心できる居場所をつくる。

| 活動場所 | , | , H - L / (A) | | | 対象学 | 校区名 | | 小 | 富士小 | ξ | | | どもの平: 参加人数 | | 16 | 人/目 | |
|----------------------|-----|---------------------------------|----|-----|--------------|------|-----|------|------|--------|-----|-------------|---------------|-------|----|-----------------|--------|
| 開催日数 | | | | | | | | | : 00 | | | | | 見童クラフ | | 連携型 | į |
| 曜日•時間 | 土・目 | •休業 | 日等 | 6 | 日 夏季休 | ヤ業中₢ | の月~ | 金 13 | : 00 | \sim | 15 | : 00 |) | との連携 | | 小富士小学 | 校児童クラブ |
| 活動のベ日数 35 日 | 学習 | 29 | 日 | スポー | 日 | 文化 | | 目 | 体験 | 6 | 5 | 日 ダ | を流 | | 日 | その他 | 日 |
| 協働活動推進員のベ 人数 14 人 | 活動 | 3 | 人 | ツ | 人 | 芸術 | : | 人 | 活動 | 1 | 1 . | 人 | 5動 | , | 人 | ての他・ | 人 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | 3 | | 人 | | 読み聞か 護女性会 | せグルー | ープ | | ボランラ | | , | 46 | 5 | | | E保護女性 生活改善ク | |
| 参加者募集 | | 小学校を通じて、毎月案内状を 布、行事の度に案内状を配布 | | | | | 費用 | 1回30 | | | | •協力 •団体 | | | | ンせグルーフ 活改善グル | |

取組の概要

く主な取組内容>

● 平日の活動

- ・小学1年~3年生までを対象に宿題をした後、工作・ゲームや昔遊び、 本の読み聞かせを中心に活動している。
- 土・日・長期休みの活動
 - ・体験活動を中心に活動している。

ジャンボしゃぼん玉

おやつ作りにチャレンジ

盆踊り

クリスマスケーキ作りにチャレンジ

こんにゃく、かりんとう作りにチャレンジ

● 防災教室

・年3回~4回、平日の活動日の1時間程度、小学1年~3年生までを 対象とし児童クラブにも呼びかけ、元消防士から防災について学ぶ。

児童の感想

- 可愛いクリスマスケーキができて嬉しい。お父さん、お母さんと早く食べたい。
- こんにゃくがあんなにベトベトしていたのに、湯がくとプリッとするのは知らなかった。
- ・災害があったときにどうしたらいいかクイズをしながら教えてくれるので楽しい。



(クリスマスケーキ作り)



(防災教室)

<特色ある取組>

● こんにゃく・かりんとう作りにチャレンジ

地元のグループの人たちの準備、指導のもと、こんにゃくとかりんとうを原料から作る工程の見学や体験をする。こんにゃく芋を見るのも初めての子どもたちなので、反応が大きく、楽しんで参加している。

できあがったこんにゃくとかりんとうはグループの人たちが用意してくれた昼食と一緒に試食し、お土産としても持って帰るので人気の取組である。



事業を実施して

【成果】

- 子どもたちは、地域の人たちと関わることを通して守られた環境の中で安心して活動することができている。
- 地域の方々も子どもたちと関わることで日常でも 声を掛け合い地域全体で子どもを育てていこうと いう思いが深まった。

- 児童クラブの子どもたちとの連携がより一層深まるような内容を児童クラブの先生たちと考えていく。
- 存続するための指導後継者育成や新指導者の 開拓。

でこぼこクラブ【新居浜市】

~ 地域の子どもは地域で見守る ~

◆活動の目的・理念

- 子どもの安心で安全な居場所をつくる。
- 異学年での活動を通じて、思いやりの心を育てる。
- 体験活動を通して、地域住民との交流を図る。

| 活動場所 | , | 大生 | 院小4 | 学校 | ķ | 対象学 | 校区 | | 大 | 生院小 | 学校 | | | 子どもの 参加人 | | 55 | 人 | 、/日 |
|-------------------|-----|---------------------------|-----|-----|-----|------------|------|------|----------------|------|------------------------------------|-----|----|-------------|----|-----------------------------|-------------|-----|
| 活動のベ日数 | 平日 | (授業 | (日) | | 日 | | | | | | | | | 児童クラ | ラブ | 一体型 | | |
| 曜日•時間 | 土・日 | •休業 | 日等 | 26 | 日夏 | 夏季休 | 業中の | の月~⊴ | 金 9 | : 00 | ~ 16 | i : | 30 | との連 | 携 | うずレ | \ クラ | ブ |
| 活動のベ日数 | | 5 | 日 | | 5 | 日 | | 4 | В | | 3 | 日 | | 5 | П | | 4 | П |
| 26 日 | 学習 | 3 | | スポー | | Н | 文化 | · - | Н | 体験 | 3 | Н | 交流 | | Н | その他 | 4 | Н |
| 協働活動推進員のべ | 活動 | c | ı | ツ | 14 | , | 芸術 | i 10 | , , | 活動 | 5 | Y | 活動 | | ı | -C VAID | 4 | I |
| 人数 43 人 | | 6 | 人 | | 14 | : 八 | | 10 | , , | | υ | 八 | | 4 | 八 | | 4 | 人 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | 60 | | 人 | 大生院 | 完校区 | まちつ | づくり推 | 進員会 | ボランティア のべ人数 | | | | 70 | 人 | | 生院まち [~] 員会・PTA | | 進 |
| 参加者募集 | | 年度初めに小学校を通じて案内を配布(途中入会OK) | | | | | | | | | 無料(長期休暇保険 連携・協力 料・おやつ代必要) 機関・団体 | | | | | まちづくり A・他 | 推進 | 員メ |

取組の概要

<主な取組内容>

- 学習活動
 - ・新居浜弁・読み聞かせ・手話・習字・英語など(夏休みの宿題など空き時間にできる内容)
- スポーツ・文化芸術活動
 - ・サッカー・バトミントン・卓球・軽スポーツ、茶道・将棋・囲碁
- 体験活動
 - ・ポーセラーツ・ハーバリウム・県総合科学博物館
- 交流活動
 - ・ソーメン流し・ヨガ・かるた・電気教室・万華鏡作り

児童の感想

- ・初めての茶道で不安でしたが、お茶はおいしかったです。
- ・科学博物館でみんなで協力してドミノだおし、動くのも緊 張しました。









<特色ある取組>

- ●地域の行事に絡めた「ほたるについて」 6月に行われている「ほたる祭り」から、ほたるはど のように育つのかについて学んだ。
- 電気教室

児童クラブと一緒に活動し、みきゃんやこみきゃん、 ダークみきゃんと電気のクイズで盛り上がった。

- ●スミセイアフタースクールプロジェクト 「Let's play ドッジボール」ドッジボール日本代表 選手に基礎からゲームまで教わり、時間が足りな いくらい楽しみました。
- こんにゃく・かりんとう作りにチャレンジ





事業を実施して

【成果】

- 学校が協力的で、児童クラブとの交流がしやすくなった。
- 保護のボランティアも多く、地域の方々と交流ができた。
- 県総合科学博物館が校区内にあり、実験や体験など行き来がしやすい。

- 専用の教室がなく体育館を使用することが多いため、温度調節が難しい。
- 高学年の参加が減少傾向にある。

大町子ども教室【西条市】

~地域の子どもは地域で育てる~

◆活動の目的・理念

- ●週末・長期休暇における子どもたちの居場所づくりを目的とする。
- ●異世代との協力による仲間づくりを通して、コミュニケーション能力の向上を図る。
- ●地域の方々との交流を図ることで、「見守り・見守られている」という育成環境づくりを目指す。

| | | | | | | | | | | | | | | | _ | | |
|-------------------|-----|-----|------------|-----|--------|------|------|---------|---------------------|--------|------------|----|------------|-----|----|----------|----------|
| 活動場所 | | 大町 | 公民 | 增 | 対象学 | 校区名 | 大町小 | 学校 | | | | | 子どもの平均参加人数 | | | 30 | 人/日 |
| 開催日数 | 平日 | (授業 | 日) | | 日 月·火 | :•木 | | | : | \sim | : | | 児童 | クラン | ブ | 連携型 | <u>!</u> |
| 曜日•時間 | 土・日 | •休業 | 日等 | 23 | 日 夏季位 | 大業中0 | 0月~9 | 金 9 | : 30 | \sim | : | | との | 連携 | 7 | 大町小児 | 見童クラブ |
| 活動のベ日数 | | 21 | 目 | | 日 | | 20 |) 目 | | 7 | 月 | | | | 日 | | 月 |
| 48 日 | 学習 | | | スポー | | 文化 | | | 体験 | | | 交流 | | | | その他 | |
| 協働活動推進員のべ | 活動 | 21 | Д | ツ | λ. | 芸術 | 20 |) Д | 活動 | 7 | Y | 活動 | 助 | | Д | C -> [L] | Į. |
| 人数 48 人 | | 21 | <i>,</i> (| | , , | | 20 | , , , , | | ' | <i>,</i> (| | | | /(| | |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | 67 | | 人 | 地域ボ | ジランティア | | | | ボランラ のべ <i>し</i> | • | | 48 | | 人 | 地均 | 或ボランテ | ィア、職員 |
| 参加者募集 | 小学校 | | | | 配布 | 参加图 | 費用 | 1回(|)∼500F | | 連携・協機関・B | | | | | | |

取組の概要

<主な取組内容>

- 囲碁・将棋教室
 - ・囲碁・将棋の対局を通して、考える力を養うとともに異 学年との交流を図っている。

● 花育教室

- ・季節に合わせたテーマで、自分なりのアレンジを重視し、 個々の表現力を養っている。
- 英語教室(低学年のみ)
 - ・楽しく英語に親しむ事を重視し、簡単な自己紹介ができるように学習している。
- トールペイント教室
 - ・木や空き瓶、布などに自由にペイントしていきます。個 性あふれる作品ができている。
- スイーツクラブ
 - ・縦割り班で、マカロンやビスキュイ作りを行いました。 高学年の児童がうまくリードしてくれている。
- ●パン教室
 - ・惣菜パンや動物の形のパンを作り、手作りの楽しさを体験している。

| | 時間帯 | 活動内容 |
|----|-------------|----------|
| 土 | 9:30~11:00 | 花育 |
| 土 | 9:30~10:30 | 囲碁·将棋 |
| 土 | 9:30~10:30 | 英語 |
| 土 | 9:30~11:30 | トールペイント |
| 土 | 10:00~11:30 | スイーツクラブA |
| 土 | 13:00~14:30 | スイーツクラブB |
| 土. | 9:30~11:30 | パン教室 |



(花育教室 自由な発想でアレンジしていきます)

<特色ある取組>

● 英語教室

あいさつと簡単な自己紹介ができるようになることを目標に、食べ物や動物、乗り物などの単語をカードを使って覚えたり、季節のイベントなどを取り入れて英語の歌を歌ったり、楽しく英語に親しむことを重視して活動している。

毎回ゲームなども取り入れて、元気で笑顔一杯の教室になっている。



(グループに分かれてあいさつの練習)

事業を実施して

【成果】

- 先生や地域の方々、異学年間の交流で、社会性や 協調性、マナーの向上がみられた。
- 高学年や継続して参加している児童は、先生の手伝いや新規参加者、低学年児童への助言や手助けなどを積極的に行い、意欲的に教室の運営に関わってくれている。

- 新しいボランティアスタッフの確保。
- 男子児童の参加が少ないので、男子児童が参加 しやすい活動内容を考える必要がある。

宮窪小学校放課後子ども教室【今治市】

~地域の子どもは地域で育てる~

◆活動の目的・理念

- 放課後の子どもの安全で健やかな活動場所の確保を図る。
- 子どもの身体機能の発達に応じた活動を実施する。
- 子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

| 活動場所 | 今 | 治市宮 | [窪: | 公民館 | 対象学 | 校区名 | 今治市 | 市立宮 | '窪小学 | 校 | | | 子どもの 参加力 | | 17 | 人/目 |
|-------------------|--------------|-------------|-----|-----|---------------|------|---------|-------------|---------------------|----------|--------------|----|-------------|----|--------------------------------|---------------|
| 開催日数 | 平日 | (授業 | 日) | | 日 夏•冬季 | 休業中 | □の月~ | 金 8 | : 30 | \sim 1 | 2: | 30 | 児童ク | ラブ | 児童クラフ | ブ無 |
| 曜日•時間 | 土・目 | ·休業 | 日等 | 31 | 日 夏·冬季 | 休業中 | □の月~ | 金 & | : 30 | \sim 1 | 2 : | 30 | との道 | 携 | | |
| 活動のベ日数 | | 31 | 日 | | 日 | | | 日 | | | В | | | | | |
| 31 日 | 学習 | 31 | Н | スポー | Н | 文化 | | Н | 体験 | | Н | 交流 | 布 | Н | その他 | Н |
| 協働活動推進員のべ | 活動 | 518 | Y | ツ | Y | 芸徒 | | Y | 活動 | | Y | 活動 | 助 | Y | 一ての一匹 | Y |
| 人数 518 人 | | 310 | 八 | | 人 | | | 八 | | | 八 | | | 八 | | 人 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | | , | 人 | | 員、愛護班 教員OB | E員、民 | 是生児童 | 氃 | ボランラ のべ <i>)</i> | • | | | 人 | 大護 | 学生、婦 <i>月</i> 班員、老 <i>月</i> | く会員、愛 くクラブ |
| 参加者募集 | /\^ <u>}</u> | 小学校を通じてチラシを | | | | 参加 | 費用 | | 無料 | | 連携・は 機関・ほ | | 無 | | | |

取組の概要

<主な取組内容>

● 7月、8月、12月は宿題教室

・夏休み(7月・8月)や冬休み(12月)の間、公民館で宿題教室を開催した。一人で宿題をするより、友達同士で宿題する方が楽しく、宿題以外のドリルなどを持参して、問題を解き合うことを楽しみにしている。勉強と休憩の時間の区別ををはっきりさせ、子どもたちが飽きないように工夫している。

- ・勉強がはかどって良かった。
- ・指導してくれる方がいろいろ教えてくれるのが楽しい。
- ・みんなと仲良く宿題ができて嬉しい。
- ・来年も、宿題教室を開いてください。
- 運動ができる教室をしてほしい。

| | 時間帯 | 活動内容 |
|---|-------------|------|
| 月 | 8:30 ~12:30 | 宿題教室 |
| 火 | 8:30 ~12:30 | 宿題教室 |
| 水 | 8:30 ~12:30 | 宿題教室 |
| 木 | 8:30 ~12:30 | 宿題教室 |
| 金 | 8:30 ~12:30 | 宿題教室 |
| 土 | ~ | |



(みんなで、仲良く宿題をしてます。楽しいよ!!)

<特色ある取組>

● 宿題教室

みんなが楽しく仲良く続けられるように、勉強時間・休憩時間を決めている。 みんな真面目に勉強することはもちろん、休憩時間には仲間同士で楽しく ゲームをして、楽しんでいた。夏休みや冬休みの宿題を終えることを目標に 頑張っており、参加してくれた子どもは目標をクリアしていた。また、保護者 からも「宿題が終わり助かりました」「子どもは、宿題教室に行くのを楽しみに している。」などの声が寄せられ、喜んでいただけている。



(早く、宿題が出来るから嬉しい! 頑張るぞ~!)

事業を実施して

【成果】

- 子どもの安心・安全で健やかな活動場所の確保を 図ることができた。
- 異なる学年(異年齢)の子ども同士が仲良くなり、 高学年は低学年の面倒も見れるようになった。

- 現在の活動を推進するための、推進員の確保が 難しくなっているのが現状である。
- 子どもたちは多く参加してくれるが、その中でルールを守れない子どもがいると、協働活動推員が付きっきりとなり、他の子どもに目が届きにくくなってしまう。

北吉井小学校放課後わくわく教室【東温市】

~豊かな放課後で、体験・経験・遊び・友達づくり~

◆活動の目的・理念

- ●放課後における子どもたちの安全・安心な活動場所を確保する。
- ●豊かな体験・交流活動を充実させ、豊かな人間性を育む。

| 活動場所 | ; | 北吉井小学 | 学校 | | 対象学権 | 交区名 | 東温i | 市立 | :北ī | 吉井小 | 学校 | | | 子どもの 参加人 | | 54 | 人/目 |
|-------------------|-----|-------------|-----|-----|------|------------|----------|----|-----|----------------|----------|-----|----|-------------|----|----------|-----|
| 開催日数 | 平日 | (授業日) | 15 | 日 | 水曜日 | 3 | | | 15 | : 00 | ~ 1 | 7 : | 00 | 児童クラ | ラブ | 連携無 | |
| 曜日•時間 | 土・目 | •休業日等 | | 日 | | | | | | | | | | との連 | 携 | | |
| 活動のベ日数 | | В | | | 3 日 | | | | 日 | | 12 | 日 | | | П | | |
| 15 日 | 学習 | Н | スポー | |) н | 文化 | <u> </u> | | Н | 体験 | 12 | Н | 交流 | | Н | その他 | Н |
| 協働活動推進員のべ | 活動 | 1 | ツ | | ĭ | 芸術 | ŕ | | Į. | 活動 | | 1 | 活動 | 助 | Į. | - てり1世 - | Ĭ. |
| 人数 人 | | 人 | | | 人 | | | | 人 | | | 人 | | | 八 | | 人 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | | <u>Д</u> | | | | I I | | | | ボランティア のべ人数 | | | 5 | 人 | 地力 | 元住民 | |
| 参加者募集 | | りめにに各点配布し受講 | | じてチ | 参加 | Î | かみ 物化学 連 | | | 連携・協 幾関・5 | | | | | | | |

取組の概要

<主な取組内容>

● 演劇で遊ぼう

・東温市を拠点に活動する劇団「東温市民劇団」を講師に 招き、演劇の手法を使って体を動かし、コミュニケーシ ョンを図る遊びやゲームを行った。

● フットサル教室

- ・総合型スポーツクラブの「川内さくらクラブ」を 講師に招き、ボールを使った運動などを行った。
- ペットボトルロケットを作って飛ばしてみ
 - ・ペットボトルロケットを作り、実際に発射台から 飛ばした。(2回シリーズで実施)

児童の様子

・1年生から6年生までの異学年での活動の中で、上の 学年の児童が下の学年の児童の面倒を見るなど、心 の成長が感じられた。





(フットサル教室の様子)



(ペットボトルロケットの制作)

<特色ある取組>

● 特色ある講師

様々な特技や趣味を持つ地域の方がボランティアで講師を務めていただ いたほか、企業にも協力していただき講座を開催した。

(体操教室の様子)

事業を実施して

【成果】

- 多様な大人、多様なジャンルの方々との関わりを 通じて、様々な体験活動ができた。
- 参加者自らが工夫や協力をしながら工作等を完成 させることで達成感や充実感が得られる。

- さまざまな体験活動を中心に活動しているが、今 後は、防災や環境など、学習テーマを決めた活動 を広げていく。
- 参加人数が多いため、全員に目が届きにくいので、 協力者の人数確保が必要となる。

伊予小校区放課後子ども教室【伊予市】

~地域で育む子どもの居場所~

◆活動の目的・理念

- 放課後において、子どもの安全で安心な居場所をつくる。
- 地域の文化に触れる機会を持ち、地域住民との交流を図る。
- 地域の人々や異年齢の子どもとの交流を通して、コミュニケーション能力を高める。

| 活動場所 | | 伊予 | 小学 | 校 | 対 | 対象学 | 交区名 | | | 伊 | 十予小学 | 学校 | | | 子どもの平均 参加人数 | | | 11 | J | 人/目 |
|-------------------|-----|-----|----|-----|-----|-----|---------|-----|---|---|---------------------|----------|------------|------------------|----------------|------|----|------|-----|---------|
| 開催日数 | 平日 | (授業 | 目) | 76 | 日 ス | 水・金 | • | | | 放 | 課後 | \sim] | l7 : | 30 | 児 | 見童クラ | ブ | 一体型 | 헫 | |
| 曜日•時間 | 土・日 | •休業 | 日等 | | 日見 | 夏季休 | 、業中の |)月~ | 金 | | : | \sim | : | | Č | との連打 | 隽 | 南伊予 | 児童ク | ′ラブ |
| 活動のベ日数 | | 10 | 目 | | 7 | B | | 2 | 1 | 日 | | 27 | 7 日 | | | 9 | 日 | | 9 | П |
| 76 日 | 学習 | 10 | Н | スポー | ' | Н | 文化 | | 1 | Н | 体験 | 4 | Н | 交 | | | Н | その他 | 9 | Н |
| 協働活動推進員のベ | 活動 | 9 | Y | ツ | 10 | , , | 芸術 | 10 | Λ | Y | 活動 | 10 |) 1 | 活 | 動 | 30 | 人 | | 11 | Y |
| 人数 80 人 | | 9 | 八 | | 10 | | | 1' | U | 八 | | 1(|) 八 | • | | 30 | 八 | | 11 | 人 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | 88 | | 人 | РТА | 会員 | 人教 | 員OB | | | | ボランラ のベ <i>人</i> | | | 25 | | 人 | 愛 | 護班員、 | 地域位 | 住民 |
| 参加者募集 | 小学核 | | | | | | 2布 参加費用 | | | | 宝弗•促除料 連 | | | ·協力 ·団体 伊予小学校 | | | 2校 | 、上野地 | 区公 | |

取組の概要

<主な取組内容>

● スポーツ活動

- ・バドミントン
- ・ドッジボール
- ボッチャを楽しもう

● 文化·芸術活動

- ・フラワーアレンジ
- ・けん玉に挑戦
- 茶道を学ぼう

● 体験活動

- 野菜づくり(ミニトマト、ジャガイモ、さつま芋)
- ・手話を学ぼう
- ・土鈴の絵付け

| | 時間帯 | 活動内容 |
|---|-------------|--------------------|
| 月 | ~ | |
| 火 | ~ | |
| 水 | 15:05~17:30 | 学習活動、体験活動、スポーツ活動ほか |
| 木 | ~ | |
| 金 | 15:25~17:30 | 学習活動、体験活動、スポーツ活動ほか |
| 土 | ~ | |
| | | |



(土鈴の絵付け)

児童の様子

- ・2020年の干支であるねずみの土鈴に着色し、それぞれ思い思いの絵を描いたり、色紙を貼ったりして仕上げることができた。
- ・バドミントンの基本の打ち方を手際よく確認でき、 「楽しかった」という声が多く聞かれた。





<特色ある取組>

●スポーツ教室

年に数回、小学校の体育館を借りて、児童クラブの2、3年生の児童と一緒にスポーツ教室を行っている。9月の活動では、リングを使ってのドリブルやシュート練習をした後、バスケットの試合、ドッジボールなどを行った。大人数で全身を使った活動を行うことで、楽しく体力を向上させることができている。



(スポーツ教室)

事業を実施して

【成果】

- 近隣に住む指導者の協力により、多種多様な活動 を行っており、楽しい居場所づくりができている。
- 異年齢の子どもや指導者とのコミュニケーションを 通して、思いやりの心を育むことができている。

- 放課後子ども教室を利用する児童が年々減ってきているため、放課後児童クラブとの交流を通して、利用者を増やしたい。
- 活動支援員や活動サポーターの確保が必要である。

松前小学校放課後子ども教室【松前町】

~地域社会の中で心豊かでたくましい子どもたちを育てる~

◆活動の目的・理念

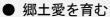
- ▶ 放課後に、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設ける。
- 様々な世代の地域の支援(推進員・サポーター等)を得ながら、学習活動、体験活動、交流活動を通して、 地域社会の中で心豊かで健やかな子どもたちの育成を推進する。

| 活動場所 | 松 | 前町 松前 | | `民館 :校 | | 対象学 | 交区名 | | | | | | | - | 子どもの ³ 参加人 | | 35 | , | 人/目 | |
|----------------------|-----------|--------------|---|-----------|------------------|-----|------|---|----|---------------|---------|--------|----|------------------------------|--------------------------|------|-------------------|----------------|-----|------|
| 開催日数 曜日·時間 | 平日 土·日 | (授業 •休業 | | 20 | 日日 | | 金曜日 | 1 | | 15 | : 00 | \sim | 16 | : 3 | 80 | 児童クラ | | 連携型 | | 音クラブ |
| 活動のべ日数 20 日 | 学習 | 4 | 日 | スポー | 3 | 3 目 | 文化 | | 7 | 日 | · 体験 | | 1 | 日 | 交流 | 1 | 万 日 | | 1 | 日 |
| 協働活動推進員のベ 人数 22 人 | Nor - 11 | 4 | 人 | ツ | 3 | } 人 | 芸術 | | 8 | 人 | 活動 | 4 | 4 | | 活動 | | 人 | - その他 | 1 | 人 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | 238 | 238 Y | | | 教員OB、民生児童委 民他 | | | | 成住 | 住 ボランティア のべ人数 | | | * | | 4 | 人 | 伊 | 予高校ホッ | ッケー | 部 |
| 参加者募集 | 小学校 | 小学校を通じて応募チラジ | | | | 配布 | 参加費用 | | | 無料 | | | | 隽・協 。 間・団 (| | | | が 前町健原 教育課ホ | | 一係 |

取組の概要

<主な取組内容>

- ▶ 日本の伝統・文化を体験
 - ・家庭では行うことの少なくなった、伝統行事や文化に関する活動を 多く取り入れている。(七夕まつり・生け花・和だこ作り・たこあ げ・おまっ茶体験・お琴を弾こう等)



・松前っ子として、いつまでも故郷に愛と誇りを持ってほしいとの願いから、 町の愛唱歌「まさき色の風」を利用した体操や音頭、町が推進するスポー ツのホッケーに親しむ機会を設けている。



- ・子どもたちは実験や工作が大好き!実際に見て、触って体験できる活動を 取り入れている。(しゃぼん玉・マイナス198℃の世界・土鈴作り等)
- ▶ 自立心を高める
 - ・体験した内容を日常生活の中で自発的に取組むことができるプログラム構 成にし、自立心、自己肯定感を養うことができるよう工夫している。 (クッキング(おにぎり作り)・避難訓練等)

児童の感想

- しゃぼん玉の液作りって魔法みたい。まぜるのたのしいな!
- 私がにぎったおにぎり、パックに入れるとおみせやさんのみたい!



(令和元年度開講式)



(しゃぼん玉飛んだよ!)



(おにぎりできた)

<特色ある取組>

● ホッケーに挑戦!・ホッケーに親しもう

町が推進するスポーツのホッケーに親しむ機会を取り入れていま す。松前町社会教育課ホッケー係の指導のほか、伊予高校ホッケ 一部(松前小学校放課後子ども教室卒業生含む)にも参加してい ただき、力いっぱい体を動かした。

また、松前小学校放課後児童クラブの生徒も一緒に参加し、児童 クラブとの連携も図っている。



(ホッケー部のお兄さんとリフティング練習)

事業を実施して

- 地域・学校・公民館の相互理解と協力体制が確立で きている。
- 回数を重ねるごとに、子どもたちの成長と、団結を見 ることができている。
- ▶ 民間企業の出前講座や、高校生ボランティアなど、新 たな人的資源により、新しい取り組みができている。

- 活動推進員及び活動サポーターの高齢化が進ん でおり、次世代の参画を促す必要がある。
- プログラムのマンネリ化を防ぎ、限られた予算の 中で、新たな体験活動を検討する必要がある。

麻生っ子放課後子ども教室【砥部町】

~居場所づくりを目指して~

◆活動の目的・理念

- 学びの場(予習、復習等の学習活動)
- 体験の場(スポーツ、文化活動等の体験活動)
- 交流の場(異なる年齢の児童や地域住民等との交流活動)

| 活動場所 | | 麻生 | 小学 | 校 | 文 | 才象学村 | 交区名 麻 | *生小 | 学校 | | | | | 子どもの 参加力 | | 24 | 人/目 |
|----------------------|------------|----------|-----|------|-----|------|-------|-----|----|-------------|----------|--------------|----|-------------|----|----------------|--------|
| 開催日数 | 平日 | | | 32 | 日力 | K | | | 15 | : 10 | \sim 1 | 6 : | 30 | 児童ク | ラブ | 連携型 | ITE |
| 曜日•時間 | 土・日 | •休業 | 日等 | | 日 | | | | | | | | | との連 | 携 | 麻生小放護 | 後児童クラブ |
| 活動のベ日数 32 日 | 学習 | 4 | 日 | スポー | 6 | 日 | 文化 | 11 | 日 | 体験 | 6 | 目 | 交流 | 5 | 日 | - その他 | 日 |
| 協働活動推進員のベ 人数 32 人 | 活動 | 4 | 人 | ツ | 6 | 人 | 芸術 | 11 | 人 | 活動 | 6 | 人 | 活動 | 動 5 | 人 | - で <i>の</i> 他 | 人 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | 100 | NPOスタッフ他 | | | | | | | | ボランテ のべ人 | | | 15 | 人 | 教 | 育委員 | |
| 参加者募集 | 新学期 を配布 | | 小学村 | 交を通じ | にてチ | ラシ | 参加費 | 門 | 年間 |]1,500円 | | 連携・は 機関・ほ | | 社会福建 | 祉協 | 議会、ボ | ーイスカ |

取組の概要

<主な取組内容>

- スポーツ
 - ・ダンスにチャレンジ
- ・サッカーにチャレンジ
- 体操にチャレンジ
- やってみよう!
 - ・和太鼓 ・音で遊ぼう ・表現あそび ・カプラで遊ぼう
- 作ってみよう!
 - ・スクラップブッキング ・しおりづくり
 - ・しおりづくり・ポーセラーツ
 - ・クリスマスクラフト
- 地域の先生に学ぼう
 - ・プログラミング ・ 応急救護(砥部消防署)
 - ・児童館がやってくる (麻生児童館)
 - ・防災について(社会福祉協議会)

児童の感想

- 自分で木を切るのがむずかしかったけど楽しかった。
- 和太鼓がとても楽しかったです。
- 放課後まつりがとても楽しかったです。

| | 時間帯 | 活動内容 |
|---|--------------|-------|
| 月 | ~ | |
| 火 | ~ | |
| 水 | 15:10 ~16:30 | 体験活動他 |
| 木 | ~ | |
| 金 | ~ | |
| 土 | ~ | |



(ダンスにチャレンジ)

<特色ある取組>

● 縦割り班でのものづくりやゲーム

互いに助け合ったり協力したりしながら交流を深めていくことができる。

● 取組内容の工夫

毎回の取組内容を工夫し、学年に応じて楽しめるようにしている。

● 講師を地域の方に

地域の方に講師を依頼し、交流する中で、継続した関わりがもてるようにしている。

●「放課後子どもまつり」

学期ごとに児童クラブとの「放課後子どもまつり」を開催し、児童クラブとの交流に努めている。



(のこぎりを使っておもちゃづくり)

事業を実施して

【成果】

- 学校や家ではできないような様々な体験活動を短い 時間の中でできるように工夫した。
- 安全に活動が行えるよう細心の注意を払い、楽しく 活動ができるよう心掛けた。

- 定期的にボランティアとしてサポートしてもらえる 人材を確保することが難しい。地域の協力を得な がら活動を行っていきたい。
- 低学年の人数が多いため高学年にも楽しめる活動になるよう工夫が必要である。

子どもの居場所づくり教室【久万高原町】

~すべての子ども、地域の方が心地よく過ごせる居場所づくり~

◆活動の目的・理念

- 放課後や週末等に子どもたちが安心安全に、健やかに過ごすことのできる居場所をつくる。
- 子どもたちの適切な遊びや生活の場を確保したり、地域の方々の参画を得ながら学習やスポーツ・文化活動、 地域住民との交流活動などの取組を実施したりする。

| 活動場所 | / | 涫(NIK 近隣公 | | | カ | 対象 | 区名 瀬 | | | ヷ小、火 夆小、身 ト、面泡 | 美川小 | 小、 、仕 | | 平均参加 人数 | | 10 | | 人 |
|-----------------------|----|---------------|---|-----------|----|--------------------|------------------|-----|---|----------------------|-----|------------|----|---------------|---|------------------|------|-----|
| 開催日数 曜日•時間 | | (授業 ・休業) | | 201 55 | | 月 <i>〜ら</i> 夏季/ | 全 大業中の月 | 月~金 | | : 30 : 00 | | | | 見童クラブ との連携 | | 連携型 万高原町放課 | 後児童 | クラブ |
| 活動のベ日数 332 日 | 学習 | 201 | 日 | スポー | 40 |) 目 | 文化 | | 月 | 体験 | 40 | 目 | 交流 | | 日 | その他 | 41 | I |
| 協働活動推進員のベ 人数 662 人 | 活動 | 402 | 人 | ツ | 80 |) 人 | 芸術 | | 人 | 活動 | 80 | 人 | 活動 | 20 | 人 | CVAIR | 80 | 人 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | 35 | , | 人 | 児童厚 | 生員 | | | | 7 | ボランラ のべ人 | • | | 60 | 人 | | 学生、婦人会 老人クラブ、 | | |
| 参加者募集 | | だよりを 、によって | | | 込み | 必要 | 参加費 | | | イベント こは有料 | | 携・協 関・団 | | 地域ボラ 宿・高校 | | ・イア・婦人 | 、会·4 | 、民 |

取組の概要

<主な取組内容>

- クラフトコーナー
 - ・いつでも工作が楽しめるように、スペースを確保。
- カルチャレンジャー
 - ・地域の方を講師に迎え、普段できない遊びにチャレンジ!
- 笛ヶ滝Day
 - ・地域の公園で野球をしたり、児童館周辺を散歩したりして 自然に親しむ。
- 夏休みの取組
 - ・地域の方にお越しいただき、お手玉やディスコンなどを楽しむ。学生や社会人ボランティア、園児、子育て世代の親子との交流も積極的に行っている。

児童の感想

- ・花育キッズでは、友だちと一緒に作ることが楽しい。また、出来上がりをみんなに褒めてもらい、うれしい。作品は、家で大切に飾っている。
- ・おかしやさん(駄菓子の販売)に来て、友だちと一緒に食べながら、おしゃべりできることが楽しい。
- パワーキッズでは、いろんな運動ができるのが楽しい。
- ・色々な活動を続けてほしい。

時間帯 活動内容 月 14:30~17:00 クラフトコーナー(月~土) 火 14:30~17:00 自由遊び 水 15:00~17:00 笛ヶ滝Day・フラダンス・パワーキッズ 木 14:30~17:00 おかしやさん 金 14:30~17:00 自由遊び・勉強 土 9:00~17:00 チャレンジャー・花育キッズ



(花となかよく! 花育キッズ カルチャレンジャー)

<特色ある取組>

● クラブ活動

- ・第1土曜日…こっとんコットン(針と糸を使った可愛い小物作り)
- ・第2土曜日… Cookドゥドゥル (美味しいスイーツ作り)
- ・第2・4水曜日…フラダンス(講師の先生を招き、町内の小学生が終結)
- ・第1水曜日…パワーキッズ(講師の先生を招いてのバランスゲームや運動遊び)
- ・毎週木曜日…おかしやさん(どなたでもどうぞ!駄菓子の販売。赤いのれんが目印)
- ・活動不定期…遊友団 ジュニアボランティア活動

(地域との交流、キッズサポーターボラ活にも挑戦中)

・年間数回…花育キッズ・レクリエーション・おはなし会・パソコン教室・ワークショップ

(講師の先生を招いての楽しい活動)



(高齢者との交流(お宮掃除) 游友団ジュニアボランティアグループ)

事業を実施して

【成果】

- 地域への広報活動を積極的に継続したことによって、 参加者の利用の幅が広がった。また、様々な機関と 連携・協働することにより、幅広い年齢層の人と交流 活動を行うことができた。
- 交流活動を通して、お互いを尊重し合うことで、いたわりの心、思いやりの心を育むことができた。

- 児童館(NIKO NIKO館)の限られた時間の中で、 ニーズを捉えて計画的に実施していく。
- 三世代交流の場所として、NIKONIKO館を地域に 知ってもらい、子どもたちが主役になれる活動を 広げ、個々の自信につなげていきたい。

上須戒放課後子ども教室【大洲市】

~ふるさと"上須戒"を愛する子どもの健全育成~

◆活動の目的・理念

- 子どもたちの安全・安心な居場所づくり
- 地域住民や異学年との交流
- 自主性や社会性の育成

| 活動場所 | 上 | :須戒 | 公民 | 館等 | | 対象学権 | 交区名 | | | 喜 | 多小学 | 校 | | | | どもの ³ 泳加人 | | | 1 人 | (/日 |
|----------------------|-----------|-----|----|-----|-----|--------------|-----|----|---|-------------|------|--------------|-----|----|---|-------------------------|----------------|-------|-----|-----|
| 開催日数 曜日·時間 | 平日 土·日 | | | 12 | 日日 | 毎月 | 第2: | 土曜 | 日 | 13 | : 00 | ~ 10 | 3 : | 00 | - | 量かう cの連 | | 連携無 | Ħ. | |
| 活動のベ日数 24 日 | 学習 | 12 | 日 | スポー | 2 | 2 目 | 文化 | | 1 | 日 | 体験 | 5 | 日 | 交流 | 流 | 3 | 月 | その他 | 1 | 日 |
| 協働活動推進員のベ 人数 24 人 | 活動 | 12 | 人 | ツ | 2 | 2. 人 | 芸術 | Î | 1 | 人 | 活動 | 5 | 人 | 活 | 動 | 3 | 人 | 1 ~ (| 1 | 人 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | | 2 | 人 | 民生委 | 在宅福 | 至社推 定 | 進員 | | | ボランテ のべ人 | • | | 1 | 20 | 人 | | 護者会、自 館、各種団 | | 、公 | |
| 参加者募集 | | | | 地域の | の対 | 参加 | 費用 | | | 無 | | 直携・排 後関・ほ | | | | | 1治会・公 育成推進 | | | |

取組の概要

<主な取組内容>

● 読み聞かせ

- ・子どもたちに本を読む楽しさを知ってもらうと伴に、子どもたちが 安全に楽しく過ごせるよう見守ることを第一に活動している。
- 閉校後の交流の場
 - ・小学校閉校後の、子どもと地域住民の交流の場として寄与している。
- 育児相談
 - ・子どもを持つ親の育児相談の場としても重要な役割を果たしている。
- 団体との連携体制
 - ・各団体との協力・連携体制があり、施設や備品を十分活用できる。

児童の感想

- ・大きな絵本を読んでくれるので紙芝居みたいで楽しい。
- ・友達と観光農園に行ったり、いろいろな遊びができるので楽しい。

時間帯 活動内容 土 13:00~16:00 絵本読み聞かせ 企画イベント



(そうめん流し



(ハロウィンごっこ

<特色ある取組>

- 観光農園体験(梨狩り、いちご狩り)
- レクリエーション(ミニミニ運動会、巨大パズル遊び)
- 地域伝統行事(どんど焼き)
- 手作りイベント(お月見集会、ハロウィンごっこ)



(いちご狩り体験)

事業を実施して

【成果】

- 小学校の閉校後、地域との接点が減少し、地元で友達と遊ぶ機会が減少していることから、子どもたちは教室を大変楽しみにしている。現在は、地域の子ども全員が加入している。
- 子どもの居場所づくりに大きく寄与しているとともに、 保護者の育児相談の場としても貢献している。

- 過疎地であり、事業の継続には人材の確保が重要な課題である。
- 小学校の閉校を受け、これまで以上に子どもと地域の関わりを重視し、子どもたちに寂しい思いをさせないよう努めることが大切である。

立川小放課後子ども教室【内子町】

~地域の子どもは地域で育てる(放課後仲良しクラブ)~

◆活動の目的・理念

- 立川・長田地区児童の放課後における安全・安心な活動場所の確保と保護者が迎えに来るまでの居場所づくり
- 地域の方との交流や学習の体験を通じた「心豊かなたくましい子ども」の育成
- ▶ 異年齢の幼児・児童との交流を通じた「やさしさ」「思いやり」「社会性」「協調性」の育成

| 活動場所 | 内子 | 一町立 | 立川 | 小学校 | 交 対 | 象学标 | 交区名 | | <u> </u> | 加小 | 学校 | | | 子どもの 参加人 | | 9.5 | 人/目 |
|-----------------------|----|------------|----|-----------|-------------|-----|-----------|--------------|------------|---------------------|-------------------|--------------|----------|-------------|---|---------------|-----|
| 開催日数 曜日·時間 | | (授業 ·休業 | | 191 41 | 日 日 夏 | | 金 ベ業中の | ·月~ <u>·</u> | | b課後 : 30 | ~ 1 ~ 1 | | 45 45 | 児童クラ | | 児童クラブ | `無 |
| 活動のベ日数 232 日 | 学習 | 89 | 目 | スポー | 78 | 日 | 文化 | 24 | ! 目 | 体験 | 36 | 日 | 交流 | | 日 | - その他 - | 日 |
| 協働活動推進員のベ 人数 913 人 | 活動 | 350 | 人 | ツ | 307 | 人 | 芸術 | 94 | 1 人 | 活動 | 142 | 2 人 | 活動 | 20 | 人 | | 人 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | | , | 人 | | | | | | | ボランラ のべ <i>し</i> | | | | 人 | | | |
| 参加者募集 | 幼科 | | | | | | 参加費 | 押 | 半 | 日400円 | | 連携・は 幾関・ほ | | | | PTA、立 老人クラ | |

取組の概要

<主な取組内容>

● 平日放課後

・絵本の読み聞かせや昼寝、学習活動(宿題・予習・ 復習)、工作等。天候の良い時は野外での遊び等。

)休業期間中

・散歩を兼ねた自然観察会、花摘み等。また、地域 の方との交流、プール遊びやクリスマス会、宝探 しの実施等。

児童・保護者の感想

- ・小学低学年:一輪車の練習をしたり、折り紙で遊んだり するのが楽しいです。
- ・小学高学年:友だちと遊んだり、話がいっぱいできたり して楽しいです。幼稚園の子や小さい子 と遊ぶのも楽しいです。
- ・保護者:子どもが楽しそうにしているので喜んでいます。 幼稚園児から小学6年生まで利用でき、とても 助かっています。安心して仕事ができます。

| | 時間帯 | 活動内容 |
|---|------------|--------------|
| 月 | 放課後 ~17:45 | |
| 火 | 放課後 ~17:45 | 読み聞かせ・読書・学習・ |
| 水 | 放課後 ~17:45 | お昼寝・野外活動・交流・ |
| 木 | 放課後 ~17:45 | 工作等 |
| 金 | 放課後 ~17:45 | |
| | | • |



(教室内の様子: 学習と制作)





(子どもたちの制作物を活用)

<特色ある取組>

- 小学校のグラウンドや遊具(タイヤ遊び、鉄棒、ブランコ、砂場等)を利用 した教室外での活動の実施。
- 季節に応じ、学校周辺の山や川への散歩や虫取りなど、地域の身近な 自然と触れ合う体験の実施。
- 児童が幼児の面倒を見ながら、制作活動や大掃除、地域のお店での買 い物体験活動など、精神面を成長させる体験の実施。



(活動の様子:タイヤ遊び)

事業を実施して

【成果】

- 放課後における子どもたちの居場所の確保と学習の 場を提供することができた。
- 地域の方々との交流を通し、地域との連携が強くなり、 地域の子どもは地域で育てる意識が浸透している。
- ▶ 異学年との関わりからやさしさや思いやりの心を醸成 し、信頼関係や新しいつながりを構築できた。

- 放課後子ども教室と放課後児童クラブでは、対象 地域が異なるため、連携はできていない。
- 小学校区内の児童数が著しく減少しており、新規 加入者の獲得が厳しい状況にある。
- 協働活動支援員の固定化が顕著で負担が増して おり、地域との連携により人材確保に努める。

中川小学校放課後子ども教室【西予市】

~地区の大人と子どもたちのつながりをつくる~

◆活動の目的・理念

- ▶ 放課後、公民館を活動拠点に体験活動や学習活動を通じて地域住民のとの交流の機会を設ける。
- 参加している児童が、学年を越えてつながりをもてるように取り組む。

| 活動場所 | | 中川 | 公民 | 館 | | 対象学権 | 交区名 | 中川 | 小学 | 校 | | | | | | どもの平 参加人数 | | 20 | 人/日 |
|----------------------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|---------|----|----|---------------------|--------|----------|------------|-----|--------------|--------|---------|-----|
| 開催日数 | 平日 | (授業 | 日) | 6 | 日 | 水 | | | | 15 | : 30 | \sim | 17 | : 00 |) J | 見童クラス | ブ | 連携無 | |
| 曜日•時間 | 土・日 | •休業 | 日等 | | 日 | 夏季休 | 業中 | の月~ | ~金 | | : | \sim | | | | との連携 | ž Ž | 学童な | なほし |
| 活動のベ日数 6 日 | 学習 | 4 | 日 | スポー | | 日 | 文化 | | | 日 | 体験 | 2 | 2 | 3 | を流 | | 日 | その他 | 日 |
| 協働活動推進員のベ 人数 12 人 | 活動 | 7 | 人 | ツ | | 人 | 芸術 | | | 人 | 活動 | 5 |) | 行 | 5動 | | 人 | ~ 0711L | 人 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | 6 | | 人 | 中川地 | 包区位 | 注民 | | | | | ボランラ のべ <i>人</i> | | | | | 人 | | | |
| 参加者募集 | 各小学 | ど校を述 | 通じて | チラシ | を配 | 元 | 参加 | 費用 | (調 | | なし 舌動は3 円) | 300 | 連携 機関 | ·協力 ·団体 | 地 | 域住民 | | | |

取組の概要

<主な取組内容>

● 地域住民との関わり

- ・授業後、子どもたちは集団下校をし、公民館に 向かう。荷物をおろした子どもから、教室後の 帰宅方法を確認しつつ出席をとっている。
- ・活動内容は右の表のとおり。地域住民の得意な ことを活かし、地区内における子どもの教育と 交流の場所となっている。内容によっては、1 年生から6年生を交ぜた4班に分かれて活動し、 子どもたち同士による教え合いをする機会をつ くっている。

学習支援

・16:30頃には地域住民との活動は終わらせ、宿 題をする時間を設けている。保護者の迎えが来 るまでは、地域住民や公民館主事が子どもたち の勉強を教えている。

| | 時間帯 | 活動内容 |
|--------|-------------|--------------------|
| 11月16日 | 15:30~17:00 | 押し花アートを楽しもう |
| 11月20日 | 15:30~17:00 | 南海トラフ地震に備えよう |
| 12月11日 | 15:30~17:00 | 図書交流館「まなびあん」を見学しよう |
| 1月15日 | 15:30~17:00 | 科学の「ふしぎ」を体験しよう |
| 2月5日 | 15:30~17:00 | いのちの大切さを学ぼう |
| 3月4日 | 15:30~17:00 | さくらもちをつくろう |

(令和元年度活動内容一覧)



(防災学習の様子)

<特色ある取組>

● 押し花アートを楽しもう

地域住民を講師として招き、児童とともに押し花アート を行った。完成した作品は、11月10日(日)に実施した 中川地区文化祭で展示し、地域住民の皆さんにも鑑 賞していただいた。



(約20名の児童が参加)



(地元の文化祭で 作品を展示)

事業を実施して

【成果】

- 親以外との大人と関わる機会が増え、子どものコ ミュニケーション能力の向上につながった。
- 子どもが公民館を利用する回数が増えるため、子 どもとその保護者にとって公民館が利用しやすい イメージになった。

【課題】

● 年に6日しかない活動だが、協力者の確保が難 しい。地域の方々に活動をPRし、新たな協力者 が必要。

美沼子ども教室【宇和島市】

~地域の中で、子どもたちを心豊かで健やかに育む~

◆活動の目的・理念

● 三間中学校区において、放課後に子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取り組む。

| 活動場所 | () | もみ 旧三間 | xの7 引幼和 | | 対 | 象学 | | 間小学 学校 | 丝校 | 、二名 | 小学 | 校、尼 | 沙 | 子どもの 参加人 | | 16 | 人/目 |
|-------------------|------------|------------------|------------|----------|------------|---------|-------|-----------|----|-------|----------|------------|----|----------|----|----------|------|
| 開催日数 | 平日 | (授業 | 日) | | 日月 | ~ | 土 | | | : | \sim | : | | 児童クラ | ブ | 児童クラフ | 無 |
| 曜日•時間 | 土・日 | •休業 | 日等 | 103 | 日夏 | [•冬季 | を休業中の |)月~土 | 7 | : 30 | \sim] | 18 : | 00 | との連携 | 隽 | | |
| 活動のベ日数 | | 30 | 目 | | 30 | 目 | | 30 | 日 | | 7 | 日 | | | П | | П |
| 97 日 | 学習 | 30 | Н | スポー | 30 | Н | 文化 | 30 | Н | 体験 | ' | Н | 交 | | Н | その他 | Н |
| 協働活動推進員のべ | 活動 | | Y | ツ | | Y | 芸術 | | Y | 活動 | | Y | 活 | 動 | Y | -C V)TIE | Y |
| 人数 人 | | | 八 | | | 八 | | | 人 | | | <u></u> | • | | 人 | | 八 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | 254 | 1 | 人 | 地域住 | 三民 | | | | | ボランラ | • | | | 人 | | | |
| | ±□ \/\ →r. | λ <u>α</u> 1 «ε. | 1++ + = | *** HH) | /□ =#: +/. |) ~ ±1. | ī | | | のベノ | (奴 | | | | | | |
| 参加者募集 | | 室の概要 | 要を訪 | 訪問し、 | | | 参加費 | 用 | 1回 |]500円 | | 連携・ 機関・ | | 三間支所 | 「教 | 育係•三間 | 引公民館 |

取組の概要

<主な取組内容>

- 学習活動
 - ・自主的に学習する習慣を身に付ける。
- 工作
 - ・折り紙や厚紙、クラフトテープ等を使って、自由な 発想で工作している。

● 交流活動

介護施設や障がい者施設の方々と交流している。



(読み聞かせ)



(卓球教室)



活動内容

時間帯

月

火

水

木

金



(介護施設の方々との交流)

<特色ある取組>

● 地域の方々による支援・イベント

今年は、美沼子ども教室の活動場所である「もみの木」にて、「もみの木食堂」を開催。 子どもたちに保護者の方や地域の方々も加わって、楽しい時間を過ごした。



(大鍋でカレー作り)



(保護者・地域の方も一緒に)

事業を実施して

【成果】

- 放課後の児童の安全な居場所づくりの確保ができた。
- 地域の子どもは、地域が育てるという意識の醸成と地域教育力の向上につながった。

- 指導員の確保が必要である。
- 子どもを飽きさせない、多様なプログラムの開発 に努めたい。

日吉地区放課後子ども教室【鬼北町】

~地域の子どもは地域で育てる~

◆活動の目的・理念

- ◆ 放課後における子どもたちの安全・安心な居場所をつくる。
- 地域住民の協力を得て、学習活動、スポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を通して、心豊かで健やかな子どもたちを育てる。

| 活動場所 | | 日吉 | 小学 | 校 | 対 | 象学标 | 交区名 | | 日 | 吉小学 | 校 | | | 子どもの平 参加人数 | | 13 | 人/目 |
|-------------------|-----|------------|----|--------------|----------|-----|------|----|----|-------------|-----------|--------------|----|----------------|---|-------|------|
| 開催日数 曜日·時間 | | (授業 ·休業 | | | 日 月 日 | ・火 | ・水・木 | •金 | 15 | : 00 | ~ 18 | 3 : | 00 | 児童クラン との連携 | | 児童クラフ | が無 |
| 活動のベ日数 186 日 | 学習 | 146 | 日 | スポー | 40 | 日 | 文化 | | 日 | 体験 | | 日 | 交流 | | 日 | その他 | 目 |
| 協働活動推進員のベ 人数 人 | 活動 | | 人 | ツ | | 人 | 芸術 | | 人 | 活動 | | 人 | 活動 | 勤 | 人 | CVAIR | 人 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | 460 |) , | 人 | 一般住 | 三民、耄 | Δ員O | В | | | ボランテ のべ人 | | | | 人 | | | |
| | | | | 見一日存 月会を開 | | 学 | 参加費 | 用 | | 無 | | 連携・協 後関・□ | | 日吉小P´ タンク協会 | | 、日吉公 | 民館、ペ |

取組の概要

<主な取組内容>

- 学習をしよう
 - ・勉強(宿題)をしてから遊ぶという習慣付けをする。・読書や自主勉強も進んでできるよう呼び掛ける。
- 自由遊び・昔遊びをしよう
 - ・オセロ、トランプ、ドミノ、ウノ、将棋、五目並べ、 折り紙、けん玉、お絵かき、段ボール工作、プラ板 等、各自好きなことをして、友達と仲良く遊ぶ。
- スポーツを楽しもう
 - ・年間を通して日吉地区で盛んなソフトテニスやペタンクに取り組み、スポーツに親しんだり、体力づくりをしたりしている。

時間帯 活動内容 月 15:00 ~18:00 宿題・自由遊び等 火 15:00 ~18:00 宿題・自由遊び・ソフトテニス等 水 15:00 ~18:00 宿題・自由遊び等 木 15:00 ~18:00 宿題・自由遊び・ペタンク(隔週)等 金 15:00 ~18:00 宿題・自由遊び等



(オー!かかってこい!)

児童の感想

- だんボールで王かんやけんを作ったり、かぶって遊んだりするのが楽しいです。
- プラ板でアンパンマンやポケモン、ようかいウォッチを作ったり、もらったりした のが思い出です。
- おもちゃで遊んだり、勉強したりするのがとっても楽しいです。

<特色ある取組>

● スポーツ体験活動(ソフトテニス・ペタンク)

日吉地区で盛んなスポーツであるソフトテニスやペタンクを低学年から楽しみながら取り組んでいる。それぞれのスポーツに長年関わってこられた地元の指導者に基礎から丁寧に教わっている。ソフトテニスは毎週火曜日、約1時間程度、学年に応じて楽しんでいる。ペタンクは、隔週木曜日、約1時間程度、ルールを学びながら遊んでいる。



(師匠を囲んで)

事業を実施して

【成果】

- 開設4年目となり、放課後における子どもたちの居場所の提供が定着してきた。
- 子どもたちと教育活動サポーターとの関わりにより、 子どもたちは地域の人たちに見守られ、育てて頂い ているという感謝の気持ちが高まってきている。

- 今年度から冬場も夕方6時まで預かることにした ので、途中で活動場所を移動することになった。 安全に移動できるように配慮していきたい。
- 教育活動サポーターの高齢化や家庭的な事情で サポーターの人数が減り、一人あたりの負担が増 しているので、人材の確保に努めたい。

夏休み子ども教室【愛南町】

~長い夏休み、子どもたちの安心安全のために~

◆活動の目的・理念

- 夏休み期間中に適切な遊びや生活の場を与え、児童が安心安全に過ごせる居場所をつくる。
- 時間を決めて学習や遊びを実施することで、長期休暇中も規則正しい生活を送る。
- 地域の大人や異年齢の児童との交流を推進し、児童の社会性・協調性を養う。

| 活動場所 | 御荘 | 夢創造 | 館(| 児童飢 | 首)対象学 | 校区名 | H | 丁内: | 全小 | 小学校 | 区(1 | 2校) | | 子どもの参加。 | | 15 | 人/目 |
|-------------------|-----|------|----|-----|-------|-----|---------|-----|----|-----------------|----------|------------|----|---------|----|--------------|-------|
| 開催日数 | 平日 | (授業 | 月) | | 目 | | | | | | | | | 児童グ | ラブ | 連携無 | K. |
| 曜日•時間 | 土・日 | ·休業 | 3等 | 30 | 日 夏季(| 木業中 | の月~ | 土 | 8 | : 00 | \sim 1 | .8 : | 30 | との連 | 搏 | | |
| 活動のベ日数 | | 29 | 日 | | 日 | | | | 日 | | 7 | E | 1 | | П | | П |
| 36 日 | 学習 | 23 | Н | スポー | I | 文化 | | | Н | 体験 | 1 | - | 交 | 流 | Н | その他 | I |
| 協働活動推進員のベ | 活動 | 296 | Y | ツ | Y | 芸術 | | | Į. | 活動 | 81 | Į. | 活 | 動 | Y | · C V JIE | Y |
| 人数 377 人 | | 290 | 八 | | 八 | | | | | | - | .) | | | | | 入 |
| 協働活動サポー ターのべ人数 | | - | 人 | | | | | | 7 | ボランテ のべ人 | 1 - | | 12 | 人 | | | |
| 参加者募集 | | 学校を通 | | チラシ | を配布 | 参加 | 費用 | | | 円(30日夕 記制度あり | | 連携・ 機関・ | | | | · 御荘夢 中学校 | 創造館(児 |

取組の概要

<主な取組内容>

- 学習·読書活動
 - ・朝の涼しい時間に、宿題や自主学習、読書を行う。
- 自由遊び
 - ・一輪車や卓球、鬼ごっこなどの運動遊びや、トランプや ボードゲーム、折り紙などの室内遊びを行う。

● 体験活動

・バス遠足や昼食・おやつ作りや工作、音楽遊びなどの 体験活動を行う。

保護者の感想

- ・夏休み中も規則正しく生活することができ、ありがたかった。
- ・違う学校の子と友達になり、毎日楽しそうだった。
- ・昼食づくりや、バス遠足など色々な体験ができて、喜んでいた。

| | 時間帯 | 活動内容 |
|---|-------------|---------------|
| 月 | 8:00~10:00 | 登所·宿題·自主学習·読書 |
| | 10:00~12:00 | 自由遊び |
| (| 12:00~13:00 | 昼食•休憩 |
|) | 13:00~15:00 | 自由遊び |
| | 15:00~15:30 | おやつ |
| 土 | 15:30~18:30 | 自由遊び・順次お迎え |



(朝の学習)



(一輪車で遊ぶ 子どもたち)

<特色ある取組>

● バス遠足

課外活動として、バス遠足を行っている。 本年度は、西予市の愛媛県歴史文化博物館を訪れ、段ボールアート遊園地、光と音のアートイベントを楽しんだ。夏休みの思い出の一つとなり、この活動を通して、児童同士が打ち解け合い、交流を深めることができた。





(段ボールでできた遊具で遊ぶ子どもたち)

事業を実施して

【成果】

- 夏休み期間中に、児童が安全安心に過ごせる場を 提供することができた。保護者の就労機会の確保に もつながった。
- 違う学校や異年齢での交流が深まった。
- 長期休暇中も規則正しい生活を送ることができた。

- 指導員の確保が毎年の課題である。本年度は、 町内にある愛媛大学南予水産研究センターの 学生にも依頼し、人材確保に努めた。
- 定員を超える申し込みがあるが、実施場所や指導員 不足等により、断らざるを得ない状況にある。 保護者のニーズに応えられるよう、関係機関と共に 検討していく必要がある。